

平成27年度第4回若葉区支え合いのまち推進協議会会議録

日 時：平成28年3月18日（金）

10時00分～12時00分

場 所：若葉保健福祉センター3階 大会議室

委員定数：30名 出席委員：17名

事務局：12名 傍聴人：1名

1 開会

2 委員長挨拶

3 議題

（1）平成27年度の活動報告

－各地区部会エリアからの発表－

（2）次期委員の改選について

4 報告事項

（1）あんしんケアセンター増設に係る担当圏域の設定について

【地域包括ケア推進課】

5 閉 会

【1】議事要旨

2 議題 平成27年度の活動報告－各地区部会エリアからの発表－

高齢障害支援課

主査 谷内田

1 第3期若葉区支え合いのまち推進計画重点取組項目の進捗状況について

・平成27年度の第3期若葉区支え合いのまち推進計画重点取組項目の進捗状況について報告

14地区部会エリアにおいて、重点取組項目数は合計59項目、新規事業は26項目ありました。そのうち目標値を上回る実績であったものが5項目、目標どおりの実績であったものが9項目、進展しているが目標値を下回る実績であったものが9項目、未着手は0項目となっております。次に拡充・拡大事業の項目数は合計33項目、そのうち、目標超は33項目、目標達成は16項目、一部達成は8項目、未着手は0項目でした。

次に地域連携の内訳として、地区部会単独活動が32項目、地区部会と自治会等で活動が11項目、地区部会と自治会以外で活動が13項目でした。

目標達成度としては重点取組項目数59項目のうち、目標超と目標達成を足して39項目となり、目標達成率は69.6%となっております。

・次に各地区部会において発表をお願いいたします。

本日不在の地区部会は、社協事務局が発表します。

事務局

・坂月地区部会は取組数が4項目あり、新規事業の目標達成が1項目、拡充・拡大事業の取組3項目のうち、目標達成が2項目、一部達成が1項目でした。

① 地域ぐるみで声かけ、あいさつ運動の実施

既存事業として各町内自治会、老人会、地区部会が活動主体となって実施している。集まる場所も少なく、町民が集まりにくいという点があったため、広報や歩こう会で呼びかけを実施した。今後も現在の人数を増やす方向と平行して進めたい。

② 防犯・防災意識を高め実践する活動

登下校時セーフティウォッチャーと一緒に歩いているが、より多くの人も目で児童の安全を見守るという観点から人数を増やすということで広報による呼びかけをしたが、なかなか増えない現状もあるため、呼びかけを更にしたい。

事務局

・貝塚地区部会は拡充・拡大事業の取組数が4項目あり、目標超が1項目、目標達成が3項目でした。

① 地域ぐるみで声かけ、あいさつ運動の実施

従来から行っている登下校時でのセーフティウォッチャーの充実を図ることを進めるなか、貝塚第3自治会の協力で協力者の増員となった。

② 防犯活動の実施

防犯パトロールの人員増の強化を進めた結果、未結成の町会で1ヶ所結成できた。

③ 防犯・減災活動の実施

自主防災組織がない自治会で1ヶ所結成できた。

委員 A

・桜木地区部会は取組数が4項目あり、新規事業の目標達成が1項目、拡充・拡大事業の取組数が3項目のなか、目標達成が1項目、一部達成が2項目でした。

① 子育てしやすい環境づくり

月1回桜木公民館において「ふれあい・子育てサロン」を実施している。

参加者が1回平均5～8人と少ないため、イベント等での配布などのPR活動を実施した。

② 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動

現在桜木公民館で年1回食事会を開催。参加者は94名であった。公民館では人数が限界に達している状況もあり小学校の空き教室など会場確保について進めたが、今年は調整がうまくいかず、進捗しなかった。今後は小学校との交流事業とするべく学校との連絡調整の機会を設け、進めていきたい。

③ 気軽に過ごせる場所づくり

高齢者とボランティアによる語らいあう場となる「ふれあい・いきいきサロン」を月1～2回、7か所で実施。未実施の自治会へサロン開催をアプローチしたが実施までは至らなかった。今後も町内自治会へも働きかけ、開催を検討したい。

④ 防犯・防災活動の実施

今年度新規立上げとして目標としていた防災訓練を実施出来た。雨天の中ではあったが、296名参加した。

委員 B

・小倉地区部会では取組数6項目のうち、新規事業の目標達成が3項目、拡充・拡大事業の目標超が1項目、目標達成が2項目でした。

① 子育てしやすい環境づくり

現在、若松公民館で開催している「子育てサロン」の他に、小倉台中央自治会で「子育てサロン」を開催する。周知の方法として回覧版、幼稚園送迎の保護者への案内していくなか、内容を含めて予定どおり11月に実施出来た。参加者は保護者30名、子ども32名と非常に多かった。駐車場の確保が厳しいという問題も、ほとんどの参加者が乳母車で参加だったため心配なかった。課題としては、エリア内の中でも地域によって参加者のバラつきがあった。

② 気軽に過ごせる居場所づくり

「ふれあい・いきいきサロン」の中で、「お困りごと相談」を実施。

参加者数が増えた。また、あんしんケアセンターの職員が会場の隅で相談所を開設。気軽に相談が出来る雰囲気になった。

③ 障がいのある方の社会参加と交流機会の創出

障害者施設との連携で障がいのある方の状況を把握し、交流を積極的に進めるなか、交流会として淑徳大学吹奏楽コンサート、災害時における要支援者の

拠点福祉避難所運営訓練に障がい者の方を対象に参加ができた。

委員 C

・白井地区部会は取組数が 9 項目あり、新規事業の目標超が 1 項目、拡充・拡大事業の目標超が 3 項目、目標達成が 4 項目、一部達成が 1 項目でした。

① 支えあう仕組みづくり

高齢者の孤立死・孤独死、社会的孤立を未然に防ぐため、協力員（自治会役員等）が見守り活動している。毎年度 1 自治会ずつ増やしていく取組のなか、1 ヶ所増えた。次年度も 1 ヶ所増やしたい。

② 地域福祉に関する情報の発信

現在地区部会だよりを年 2 回発行から 3 回発行へ増やした。読んでもらうために、わかりやすい文章、写真、数値をグラフ化するなど作成のスキルアップを図り見やすくなった。

委員 D

・更科地区部会は取組数が 4 項目あり、新規事業の目標超が 1 項目、一部達成が 1 項目、拡充・拡大事業の目標達成が 1 項目、一部達成が 1 項目でした。

① 地域ぐるみで声かけ・あいさつ運動の実施

超少子高齢化状況にあり、地域の連帯・絆が希薄化しているため、地域ぐるみで声かけ・あいさつ運動を推進すべく「支え合いのまち推進計画の周知啓発用の隣組」の CD を作成し、敬老会、親子大会、親子集会所での CD 放送ができた。

② 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施

親子凧揚げ大会を実施。中学生・高校生・大学生等の若い世代の参加・協力を促し世代を超えてふれあう機会をつくることを実施。中学生の参加が若干増加した。

③ 気軽に過ごせる居場所づくり

地域高齢者の仲間づくりのためサロンの実施個所を増やす取組を実施したが、ボランティア（担い手）が増えないと、実施個所も増えていかない。今後は土日開催を設定し、小、中、高、大学生の手を借りることも検討したい。

④ 害時に避難できる体制づくり

避難所運営委員会を設立できた。

事務局

・千城台東南・金親地区部会は取組数が 3 項目あり、新規事業の目標達成が 1 項目、一部達成が 1 項目、拡充・拡大事業の一部達成が 1 項目でした。

① 気軽に過ごせる居場所づくり

サロンの参加人数を増やすため、民生委員の調査時や、15 自治会へチラシ回覧により参加者が増えた。

② 支え合う仕組みをつくる

隣接する御成台、千城台西・北地区部会と合同で地域ケア会議を実施。

地区内関係団体が情報の共有化、交流を図れた。

③ 災害時に避難できる体制づくり

避難訓練に参加。今後も、平常時から災害時に備えた体制づくりに協力したい。

委員D

・26地区部会は取組数が3項目あり、拡充・拡大事業の目標超が2項目、一部達成が1項目でした。

① 公園やサークル活動を利用した交流機会の創出

ラジオ体操の実施場所を増やす取組のなか、なかなか伸びない現状であるが、広場を整地し始めた自治会があり、今後実施場所として検討してもらうようにしている。

② 防犯活動の実施

防犯活動の自治体を増やす取組のなか、パトロール・見守りを始めた町内会も出てきた。

事務局

・若松地区部会は取組数が4項目あり、新規事業の一部目標達成が3項目、拡充・拡大事業の一部達成が1項目でした。

① 子育てしやすい環境づくり

子育てサロンに参加人数を増やすため、募集チラシを作成。自治会回覧を利用して周知。常時5～6組の参加が得られている。

② 気軽に過ごせる居場所づくり

いきいきサロンの新規開催に取組み、自治会の協力で初めて実施できた。今後、民生委員の方々が主となり活動していただけるのが課題となった。

③ 地域でできる介護予防・健康づくり

各自治会、町内会の回覧で申し込みチラシを配布し脳トレ講座の参加者を募集した。地区部会の協力もあり2回実施できた。

委員E

・加曽利地区部会は取組数が4項目あり、新規事業の目標超が3項目、拡充・拡大事業の目標達成が1項目でした。

① 活動の中核となれる人材の発掘

取組に参加するメンバーの発掘を、どのように行うかをあきらかにする。今までのやり方は、口コミで評判を聞きながら直接コンタクトを取り勧誘活動を行っていたが、今回は社協の紹介で、大学、高校に無償ボランティア活動およびポスターの提示をお願いにいった。

② 活動団体同志の連携・交流

地域ケア会議のもとに、自治会・民生委員・ケアマネ・障害施設・あんしんケアセンター、社協のメンバーで具体的な問題の討議を実施した。

③ 防災・減災活動の実施

「向こう三件両隣・防災・助け合いマップ」の地区部会内の7自治会への説明会を実施。

④ 福祉のこころを育む活動の実施

福祉体験学習プログラムを学校と地域の団体が共同して開発、展開するため、

中学生に特化して進めることとした。具体的な取組の他、「認知症サポーター養成講座」に協力した。

委員 F

・都賀地区部会は取組数が4項目あり、新規事業の目標達成が3項目、一部達成が1項目でした。

① 助けあい活動の仕組みづくり

「遠くの親類より近くの他人」ご近所住民の相互扶助をベースに繋がりを深めて助け合いができるよう広報活動・活動説明の周知のため「ご近所だより」を発行。

② 活動団体同士の連携・交流

あんしんケアセンター、自治会、地区部会、民生委員、ボランティアなど、それぞれの役割と連携について、地域ケア会議を開催。

③ 地域での福祉教室等の開催と活動支援

社協と共催の形で「シニアボランティア講座」を開催。

委員 G

・結・みつわ台地区部会は取組数が4項目あり、新規事業の一部達成が2項目、拡充・拡大の目標達成が2項目でした。

① 福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の実施

計画どおり開催。あんしんケアセンターの協力で、実際の福祉器具を使って「家庭でできる介助の実技」は大変参考になった。

② 地域でできる介護予防・健康づくり

無理なく程々のペースで「お散歩クラブ」を継続してきている。

③ 活動団体同士の連携・交流

地域ケア会議を設置。平成27年1月に開催された経緯があるのみであったが、参加した自治会の中から新たに1ヶ所支え合いの会が発足した。

事務局

・千城小地区部会は取組数3項目あり、新規事業の一部達成が1項目、拡充・拡大の目標超が2項目でした。

① 気軽に過ごせる居場所づくり

いきいきサロンの開催を重点とし、2自治会で毎月定期的に実施が出来た。

② 防犯活動の実施

プロジェクトチームを発足させるため勉強会を実施。立ち上げるまでには至らなかった。

③ 防災・減災の実施

防災訓練の参加者126名、避難所運営訓練参加者60名と目標を大きく超えた。

<全体を通じて質疑応答>

委員 H

・相談窓口の設置や出張相談の実施で、ふれあい・いきいきサロンの場で「お

困りごと相談」を実施したとのことですが、専門的な相談の場合、私達老人クラブのサロンでは、この内容はどこどこに聞いてくださいなど、聞く場所を案内するといったことで対応しているが、どのようにしていますか。

委員 B

・あんしんケアセンターの職員が会場の隅にお困り相談の場を開設してくれており、気軽に相談対応してもらっております。また、後日個別訪問するなどもしております。

委員 H

・老人会でサロンを開設しているが、健康体操、歌う、茶話会をやっているがこの内容では飽きないかと思ってしまう。どのような内容のものをしていますか。

委員 D

・自分の特技を披露したり、歌を歌ってもらったり、演奏してもらうなどしてもらっている。また、トランプや塗り絵、麻雀、茶話会、輪投げなど。

ただ、輪投げなどは苦手な人もいるので、競争させないようにしたほうがよいと思います。

【議題 2】委員の改選について—事務局（高齢障害支援課）から発表—

高齢障害支援課

次期委員の改選について

主査 谷内田

1 各団体からの推薦依頼について

（1）推進協議会の委員は、原則として各種団体からの推薦とする。

前回は、原則として委員各位に再任の承諾を得る方法で改選していたが、今回の改選においては、委員の推薦団体を明確にしたうえで、それぞれの団体に再任を妨げないことを条件に適任者の推薦を依頼したい。

（2）委員の公募について

委員の公募は、推進協議会の発足当時に、より多くの参画者を募るために行ったと考えられるが、現在の委員は、地域で活動している方や、地域の団体を代表する方で構成されており、委員数もそれらの方々だけで 28 名となっている。従って、地域の意見は十分反映できることから、公募は行わないこととしたい。

（3）自治会からの推薦について

自治会との連携を強化するために、若葉区町内自治会連絡協議会理事会に対し 3 名程度の推薦を依頼したい。

2 委員構成案

	所属団体（推薦団体）等	
1		社協地区部会
2		あんしんケアセンター
3		若葉区老人クラブ連合会（会長）
4		千葉市ボランティア連絡協議会
5		福祉施設
6		障害者家族会
7		民生委員・児童委員協議会（主任児童委員 1 名を含む）
8		地域福祉活動者
9	新規	町内自治会連絡協議会

【報告事項】千葉市あんしんケアセンター増設に係る担当圏域の設定について—事務局（地域包括ケア推進課）から発表—

地域包括ケア
推進課課長補佐
西 公厚

千葉市あんしんケアセンター増設に係る担当圏域の設定について

1 あんしんケアセンター増設の背景

高齢者人口・高齢化率の増加により「あんしんケアセンター」では、市民から寄せられる様々な相談が増加している。今度さらに増加する高齢者人口に対応し個々の高齢者が抱える多様なニーズに対して、きめ細やかな支援ができるよう千葉市高齢者保健福祉計画により、平成 29 年度にあんしんケアセンターの増設が計画されている。

2 あんしんケアセンター増設に係る基本的な考え方

国が示す設置の基準

- （ア） 中学校区（高齢者人口概ね 3, 000 人～6, 000 人程度）に 1 センター
- （イ） 人口密度の高い都市圏等では、地域の実情に応じてセンターの設置の代わりに、職員の増員での対応も可

3 29 年度の増設の方針（案）

圏域設定の具体的な考え方

- （ア） 市民の混乱や不安を招かないよう、可能な限り既存の 24 圏域をベースとする。
- （イ） 行政区を跨がない。また、地域の住民活動を支援しやすいように、中学校区や、民生委員・社協地区部会等の地区になるべく沿うよう圏域を設定する。

4 あんしんケアセンターの設置予定数

具体的に圏域設定の検討をしたところ29センターを設置したい。

- ・若葉区現状設置数4から5へ
- ・圏域の変更有

委員長

・各地区部会ではあんしんケアセンターと一体となって取り組んでいることが多々あり重要な役割がある、業務に支障がないようにしてほしい。

地域包括ケア
推進課課長補佐
西 公厚

・あんしんケアセンターの職員の方には今も本当にご苦勞していただいております。基本的に業務が変わるというものでもございません。

人数を増やしていくことなどの検討もしております。地域ケアという部分でも中核となっていており、市としてもこれまで以上にバックしていきたいと考えます。

閉 会

以上で終了させていただきます。